

第 1 回会議の振り返り

(1) 令和 5 年度のテーマの決定

「学びを通じたボランティア人材発掘・育成」～若者の社会教育活動への参加促進～

(2) 令和 5 年度の会議と事業予定の承認

(3) 令和 4 年度 of 取組みにおける課題に対する意見

課題：「若者の参加者をどのように増やせば良いか」

「修了生をどのように活動につなげれば良いか」

① 読書ボランティア人材養成後の活動の広がりについて

- ・活動の地域が偏っているので、現在活動している地域を起点に広げていくといいのでは。
- ・地域においてもイベントや活動に努力している。それらについても拾い上げてほしい。
- ・若い人たちに活動をもっと知ってもらわないと、参加につながらないので、広報の仕方を含め、大学等といろいろな連携する必要がある。
- ・新住民へのアピールや新たにオープンしたスーパーなどに活動を広げてはどうか。
- ・小中学校での図書ボランティア活動に修了生が携わってもらえると良いのでは。
- ・学童保育には読み聞かせに来てほしいところもあると思うので、声をかけてみてほしい。
- ・保育園で、読書ボランティアの方が定期的に読み聞かせを行うこともできるのでは。

○活動場所の拡大を図る。

○地域における活動を、若者をはじめ多くの人に知ってもらう。

○学校、学童保育、保育園など、多くの公共の場や店舗を活用する。

② 読書ボランティア人材養成の周知について

- ・教育やボランティアに興味のある学生はたくさんいるので、立命館大学のサービスラーニングセンターで、チラシなどによる呼びかけを行うともう少し広がるのでは。
- ・情報発信の仕方については、SNS（インスタグラム）の活用など研究が必要では。
- ・福祉関係の分野では、ボランティアな学生さんがかなりいるので、活動のイメージなどを分かりやすく伝えて、呼びかけてみるのも良いのでは。

○従来の広報の方法のみではなく、SNS を活用する必要がある。

○受講するメリット、受講後の姿など、イメージを持てるような周知を行う。

(4) 第 2 回会議に向けて

- ・第 2 回会議で、令和 5 年度の養成講座の開催方法について議論するにあたり、7 月末を目途に各委員から事務局に開催方法などを提案してもらい、事務局で開催案を作成する。